

(仮称)新清掃センター・なぐわし公園 位置案内図



事業の内容

この公園では、次の施設の整備を計画しています。

設を中心に、芝生広場・多目的広場（グラウンド）・健康交流広場・修景池などを整備します。これらの施設は、誰もが安心して安全に利用できるように配慮します。公園内の各施設は、地域の皆さんの要望や、（仮称）川越西公園建設委員会の提言などを尊重して計画しました。

温水利用型健康運動施設

二十五メートル温水プール・小児用温水プール・温浴施設・トレーニングルーム・多目的ホール・休憩室などを備えています。水中運動などを楽しみながら、健康増進を図ることができ、この公園の主体となる施設です。

芝生広場

約二ヘクタールの広さがあります。各種レクリエーションを楽しむことができる広場です。

多目的広場（グラウンド）

少年野球・ソフトボール・少年サッカーの場合はそれぞれ二面、成年サッカーの場合は一面の利用が可能など広さを持っています。市民の皆さんが、スポーツに親しむことのできる場となります。

健康交流広場

健康遊具・幼児用遊具を設置します。グラウンドゴルフなどで利用できる小多目的広場も備えています。誰もが一つの場所で楽しむことができる場となります。

修景池

この地でわき出る水を有効利用し、全体を湿地として整備します。せせらぎや小さな池と、木道をつくることで、市民の皆さんが魚・鳥・水生生物などを観察できる場にします。また、雨水調整池としての機能も兼ねています。

このほかに、市民の皆さんと共に緑を育て、四季折々の草花を楽しむことができる市民植樹・市民花壇を設置します。また、ジョギング・ウォーキングができる園路なども整備します。

事業の効果

この公園の整備により、市内で運動や余暇を楽しむことができる場がさらに充実します。そして、多くの

市民の皆さんが交流する場となることで、地域の活性化につながると考えています。

また、災害時には近隣に住む皆さんの避難場所にもなります。物資の収集備蓄場所などを備えた防災拠点としての機能も併せ持つ公園になるよう、検討しています。

現在の状況

この公園の方向性を定めた基本計画に基づいて、温水利用型健康運動施設の整備を行います。この施設の設計、工事、管理・運営には、民間の知識・技術などを活用して、事業費の削減やサービスの向上を図る手法を検討中です。オープンは、平成二十三年度を目指しています。

芝生公園などについても、順次整備を進めていく予定です。

市民の皆さんが安全に、安心して楽しむことのできる公園を目指して、計画を一歩ずつ進めて行きます。

問い合わせ

公園整備課・TEL224・5965

「（仮称）新清掃センター」と「なぐわし公園」については、今後も事業の進み具合を、ホームページなどで順次お知らせしていきます



(仮称) 新清掃センターの建設に着手

これまでの懸案でした、(仮称) 新清掃センターの建設につきまして、市議会ならびに市民の皆さんのご理解、ご協力により、建設に着手することができました。心より厚くお礼申し上げます。

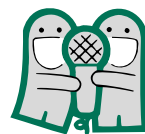
同センター建設は、「循環型社会」の形成を推進するために「ごみの発生抑制」「不用品の再利用」「ごみの資源化」をごみ処理の基本的な考え方として、老朽化した西清掃センターの代替施設として計画いたしました。ごみの発生抑制のための啓発事業や不用品として出された家具などの再生などを行う「啓発施設」、びん・缶などの資源ごみや植木せんてい枝などを選別・破碎して資源化を行う「リサイクル処理棟」や「草木類資源化施設」、生ごみなどを焼却し、衛生的に処理することにより発生する熱で発電を行い、余熱を各施設や隣接する公園の余熱利用施設へ熱供給を行う「熱回収施設」などの施設を整備する予定です。

市民の皆さんのごみの減量化や資源化に対するご協力により、建設に着手した熱回収施設は、1日に処理するごみの量を265tまで削減することができました。建物は、地上5階建て、煙突の高さは約90mになります。

また、ダイオキシン類などの公害対策につきましても国の基準より厳しい規制値を設け、万全を期すとともに、本市の清掃センターでは初めて、発電設備を備えた施設となっています。

各施設は、平成22年3月の完成を予定しております。完成までの間、市民の皆さんには、ご不便・ご迷惑をおかけするかと思います。引き続きご協力をお願いいたします。

川越市長 舟橋功一



Duet

デュエット

広報川越へのご意見・ご感想を
紹介するコーナーです

あて先Ⅱ〒350-8601川越市役所広報室「デュエット係」▼フアク
スⅡ25-2171▼EメールⅡkoho@city.kawagoe.saitama.jp
*必ず住所・氏名・年齢・電話番号をご記入ください。
*匿名・ペンネーム希望の場合は、その旨を明記してください。

子供こどもの頃、先生や親から叱しられたものだ。当時はうるさく感じたが、今では感謝している。私のことを本気で心配し愛情を注いでくれたことが遅ればせながら分かったからだ。

■ 広報川越から
「勉強しろ！」の「しろ」は予想外でした。私も「勉強しろ！」と、よく言われました。このような親からのことばは年齢を重ね

るほどに、ありがたく思うものですね。
◎ ◎ ◎
昭 和十九年夏、私は東京から飛騨ひでへ疎開した。五年生だったが、飛騨で迎えたはじめての冬である。寒い冬の朝、目を覚ますと、目の前が白一色であった。東京で生まれ育った私は、雪と

いえばちらちら程度ですぐに消えてしまった。それが高い山も家も畑もすべてまっ白。白い中で毎日の生活である。その白も春になるまで消えることはなかった。厳冬の冬を一段と寒く思わせる白い雪。絶対忘れることはできない、白の思い出である。

■ 広報川越から
飛騨で体験した、厳しい冬の様子なまが文面から感じられました。高山市の観光案内所に確認したところ、地球温暖化の影響でしょうか、ことしの雪は例年より少ないとのことでした。
*ふりがなは、広報室で付けました。